

こころからだに、
おいしいものを。



2023年12月18日

各 位

会 社 名 ダイドグループホールディングス株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 高松 富也
(コード番号：2590 東証プライム市場)
問い合わせ先 コーポレートコミュニケーション部長 三原 真紀子
電 話 番 号 06-7166-0077

連結子会社による治療薬の承認申請のお知らせ

当社の連結子会社であるダイドファーマ株式会社（以下「ダイドファーマ」という。）は、ランバート・イートン筋無力症候群（以下「LEMS」という。）への効果が期待される治療薬（開発番号：DYD-301、一般名：アミファンプリジンリン酸塩）の承認申請を本日、厚生労働省に行いましたのでお知らせいたします。本件に関する詳細につきましては、別紙プレスリリースをご参照ください。

当社グループは、成長性の高いライフサイエンス分野をはじめとするヘルスケア関連市場を次なる成長領域と定め、その中でも国内患者数が5万人未満の難病である希少疾病用の医療用医薬品に着目し、2019年1月に、ダイドファーマを設立いたしました。希少疾病には未だに効果的な治療の選択肢がないものも多く存在しており、社会的な課題とされています。ダイドファーマでは、こうした現状を踏まえ、先天性の希少疾病や、患者数が極めて少ないウルトラ希少疾病などの治療薬開発に取り組むべく、優良なパイプラインの獲得に向けた活動を続けております。

なお、本承認申請による2024年1月期連結業績への影響は、2023年11月27日に公表した通期業績予想に織り込み済みであることから、本件による業績予想数値の変更はありません。



2023年12月18日

各位

ダイドファーマ株式会社

アミファンプリジジンリン酸塩 (3,4-ジアミノピリジン) の ランバート・イートン筋無力症候群 (LEMS) に対する承認申請について

ダイドファーマ株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：稲岡 靖規、以下「ダイドファーマ」という。）は、ランバート・イートン筋無力症候群（以下「LEMS」という。）への効果が期待される治療薬（開発番号：DYD-301、一般名：アミファンプリジジンリン酸塩）の承認申請を本日、厚生労働省に行いましたのでお知らせいたします。

アミファンプリジジンリン酸塩は、ダイドファーマが、Catalyst Pharmaceuticals, Inc.（以下「カタリスト社」という。）から、日本国内での LEMS を対象とした治療薬の共同独占的開発・製造販売実施権および独占的商品化実施権の許諾を取得し、日本における治療薬の開発を行っているものです。

アミファンプリジジンリン酸塩は、すでに欧米において LEMS を適応症として承認されている医療用医薬品で、カタリスト社が米国で Firdapse® という商品名で販売しています。

（ご参考）

ランバート・イートン筋無力症候群について

自己免疫性・神経筋接合部疾患で、神経終末からのアセチルコリン放出量減少により近位筋の筋力低下、自律神経症状などの症状を呈しています。悪性腫瘍に合併、あるいは腫瘍の発症に先行する傍腫瘍性神経症候群の1つです。

DYD-301 (アミファンプリジジンリン酸塩 10mg 錠)について

DYD-301 (アミファンプリジジンリン酸塩) は、経口の K^+ (カリウムイオン) チャネル阻害剤であり、神経筋接合部の前シナプス膜にある膜電位依存性 K^+ チャネルを阻害することで、細胞膜の脱分極を引き起こし、膜電位依存性 Ca^{2+} (カルシウムイオン) チャネルを開口させ、細胞内への Ca^{2+} の流入を促進することにより、アセチルコリン (ACh) を含むシナプス小胞のエキソサイトーシスを誘発して、シナプス末端からシナプス間隙への ACh の放出を促進、神経-筋伝達を向上させることで筋肉の機能を改善します。アミファンプリジジンリン酸塩は、厚生労働省から希少疾病用医薬品の指定を受けており、ヨーロッパおよびカナダにおいては、既に成人 LEMS 患者、米国においては、成人及び 6~17 歳の小児 LEMS 患者の治療薬として承認されています。

カタリスト社 (Catalyst Pharmaceuticals) について

カタリスト社は米国フロリダ州 Coral Gables に本社を置くバイオ製薬企業であり、神経筋及び神経系の希少疾患に対する画期的な治療法の開発と商業化に焦点を当てております。カタリスト社は、2018 年 11 月に FDA (アメリカ食品医薬品局) から成人の LEMS 治療薬として amifampridine の承認を取得しました。

カタリスト社は患者さんのためをモットーに、希少な神経学のおよびてんかん性疾患に対処する革新的なファーストインクラスの薬剤の開発と商業化に取り組んでいます。カタリスト社の米国での主要製品は、FIRDAPSE® (アミファンプリジン) 10mg 錠であり、これは成人および 6 歳から 17 歳までの小児のランバート・イートン筋無力症候群 (LEMS) の治療に承認されています。2023 年 1 月には、カタリスト社は FYCOMPA® (ペランパネル) CIII の米国での商業権を取得しました。本剤は 4 歳以上のてんかん患者、2 次的な全身発作の有り無しに関わらず部分発作を他剤で治療している患者、12 歳以上のてんかん患者で初発の全身硬直間代性発作を他剤で治療している患者に対しての治療薬として承認されています。さらに、カナダの国立医薬品規制当局である Health Canada は、カナダでの成人 LEMS 患者に対する治療に FIRDAPSE の使用を承認しています。また、カタリスト社は 2023 年 7 月 18 日、デュシェンヌ型筋ジストロフィーに対する新規コルチコステロイド治療薬である AGAMREE® (バモロロン; 経口懸濁液 40mg/mL) の北米における独占的ライセンスを取得しました。AGAMREE®は FDA の希少疾病用医薬品およびファースト・トラックの指定を受けており、2023 年 10 月 26 日に米国での販売が承認されました。24 年 1Q に発売の予定です。

カタリスト社の詳細については、同社ウェブサイト www.catalystpharma.com を、FIRDAPSE®の処方および安全性情報については www.firdapse.com を、FYCOMPA® の使用上の注意を含む処方全般については www.fycompa.com を、AGAMREE® の処方全般については <https://www.agamree.com/> を、ご覧ください。

ライセンス契約に関するニュースリリースについて

カタリスト社とのライセンス契約に関しては、2021 年 6 月 28 日に公表したニュースリリースをご参照ください。

[連結子会社によるライセンス契約締結のお知らせ](#)

以 上